

指導と評価の年間計画(シラバス) 様式1

学部	中学部	授業名	数学	週当たりの授業時数	2	授業担当者	
学年	1年	教科等	数学	主な段階	中学部1段階	採択教科書	数学☆☆☆☆

年間目標

ア 知識及び技能	イ 思考力, 判断力, 表現力等	ウ 学びに向かう力, 人間性等
<p>A: 数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>B: 基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>C: 身の回りにおける長さ、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>D: 身の回りにおけるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。</p>	<p>A: 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。</p> <p>B: 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。</p> <p>C: 身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。</p> <p>D: 身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。</p>	<p>A: 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>B: 図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>C: 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>D: データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>

年間計画

学期	単元(題材)	主な学習活動	単元(題材)の評価規準
前期	数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・2桁の足し算や引き算のプリント学習(繰り上がり、繰り下がり) ・プリント学習 	<p>A: 2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができている。また、それらの筆算の仕方を理解している。</p> <p>イ: 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かしている。</p> <p>ウ: 2桁の足し算や引き算の計算方法を身につけようとしている。</p>
	長さや重さの測定(cm, mm, mなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に結びつけた長さ、重さなどの測定 	<p>A: 長さの単位(mm, cm, m, km)や重さの単位(g, kg)について知り、測定の意味を理解している。</p> <p>イ: 身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べている。</p> <p>ウ: 学んだことを理解し、その他の学習活動や日常生活で活用しようとしている。</p>
後期	金種(支払い、両替)	<ul style="list-style-type: none"> ・硬貨を用いた体験活動 ・プリント学習 	<p>A: 提示された金額に合わせ、適した金額の支払いなどの具体的な生活場面における簡単な計算をしている。</p> <p>イ: 金種の関係に着目し、両替できる金種の範囲を広げ、支払いやお釣りに関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かしている。</p> <p>ウ: 簡単な会計方法を身につけようとしている。</p>
	図形(正多角形、作図など)	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の特徴、名称、作図 	<p>A: 基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ったりしている。</p> <p>イ: 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えている。</p> <p>ウ: 様々な図形に関心を持ち、名称や作図の方法を理解しようとしている。</p>
	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフ、折れ線グラフの特徴 ・順位づけ ・グラフの作成 	<p>A: データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表やグラフで表したり、読んだりできる。また、表や棒グラフの意味やその用い方を理解している。</p> <p>イ: 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表やグラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりしている。</p> <p>ウ: 学んだことよさを実感し、そのことを他の学習活動に活用しようとしている。(社会、理科など)</p>